

## 多様な手法による選挙出前授業の例

### 「大学生による選挙出前トーク」 【豊田市選挙管理委員会の取組】

**小学校対象の出前授業「選挙出前トーク」を、中京大学総合政策学部の市島宗典准教授のゼミと連携して実施**

- ・ 授業は1コマ（45分）で講義・ワークと模擬投票を行う
- ・ 説明、児童のサポート、模擬投票の候補者役、投票手順の説明など全て大学生が行う
- ・ 市内山間部の小規模校から100名を超える規模の小学校まで幅広く実施している

（授業の内容）大学生が考案した3案を選管が提示し、学校が選択する

A案：選挙公報、ポスター、政見放送から必要な情報を得て、投票先を決めることの重要性を学ぶ

B案：候補者の主張を間違っとならぬように、内容をしっかり確かめることの重要性を学ぶ

C案：候補者演説、投票所入場券、投票用紙等の選挙の各場面の写真を使い、グループで順番を組み替えながら選挙の流れを学ぶ

（A案の例）

- ・ 選挙の際に候補者情報を知るツールとしてポスターや選挙公報、政見放送等を紹介した後、候補者の政策が空欄になっているワークシートを配布し、ポスターや選挙公報、政見放送を見ながら、穴埋めをする
- ・ 候補者によるパネルディスカッションを行い、互いの政策について候補者間のやりとり、児童からの質疑応答を実施
- ・ これらの情報を元に模擬投票を行う



### (B案の例)

- 事例を示しつつ、情報をきちんと確認しないと自分の望む結果にならないことを説明し、実際の選挙でも同様に意図しない結果になりうることを学ぶ
- 模擬投票を通して情報を正しく読み取ることの重要性を学ぶ
- 最後に、授業内容を復習する意味も兼ねて、正しく情報を伝える(受け取る)伝言ゲームを実施



### (C案の例)

- 児童3名ずつのグループで公示日から投票日までの場面が示された写真を見ながら、その順番を話し合い、ワークシートに記入
- 各グループには1人ずつ学生が付き、声をかけながら話し合いをサポート
- 各班での作業が終わったら答えを発表し解説を行う。
- 大学生が候補者に扮して実際の投票機器材使用して模擬選挙を実施

